

随意契約結果及び契約の内容

工 事 の 名 称	成田国際空港新管制塔新築工事
工 事 概 要	新管制塔 新築工事 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地上 8 階建、建築面積 1,636.39 m²／延床面積 5,170.86 m² 建築工事、付帯設備工事
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 東京航空局長 今井 和哉 東京都千代田区九段南一丁目 1 番 1 5 号
契 約 年 月 日	令和 6 年 8 月 2 9 日
契 約 業 者 名	大成建設株式会社千葉支店
契約業者の住所	千葉県千葉市中央区新町 1 0 0 0 番地
契 約 金 額	9,372,000,000 円（税込）
予 定 価 格	9,381,900,000 円（税込）
随意契約によることとした理由	本工事は、成田国際空港の機能強化として実施される B 滑走路の延伸及び C 滑走路の増設等に伴い、国が行う管制業務に必要な機能確保のため、新管制塔の整備を実施するものである。 新管制塔の建設用地は現管制塔・庁舎と空港警察庁舎に挟まれた非常に狭隘な用地であることから、建設時には近接した現管制塔における管制業務に支障を来す視認障害を生じさせぬよう、高層塔体の施工において作業範囲を最小限に抑えた高度で専門的な工法が必要となる。 また、施工者独自の工法による施工計画（仮設等）を仕様書に反映するにあたり、管制業務への影響を確認するための現地管制官との協議が必要となることから、仕様の前提となる条件の確定が困難な工事である。 このため、施工者独自のノウハウ等を活用した工法選定や施工計画により仕様を確定する必要があることから、設計段階から施工者独自のノウハウ等を活用する発注方式（技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ））を採用した。 本方式は、技術提案に基づき選定された優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させ、目標工期、工事額を算定した上で、価格等の交渉を行い交渉が成立した場合に工事契約を締結するものである。 本工事は、価格等の交渉成立に伴い技術協力業務を反映した設計・施工計画に基づく工事を行うものであることから、技術提案者である大成建設株式会社が本工事の実施が可能な唯一の者として、会計法第二十九条の三第四項、予算決算及び会計令第二百二条の四第三号及び「公共調達の適正化について」一（２）① ニ へにより、随意契約を締結するものである。
工 事 場 所	千葉県成田市古込字込前 1 3 3
工 事 種 別	建築工事業
履行期間（自）	令和 6 年 8 月 3 0 日
履行期間（至）	令和 1 0 年 2 月 2 9 日
備 考	